

Mizuho Daily Market Report

2023/2/2

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	130.19	128.98	▲1.11	▲0.61
EUR	1.0881	1.0990	+0.0127	+0.0074
AUD	0.7074	0.7137	+0.0082	+0.0033
SGD	1.3134	1.3064	▲0.0075	▲0.0067
CNY	6.7471	6.7422	▲0.0131	▲0.0423
MYR	4.2702	4.2740	+0.0000	+0.0135
THB	32.86	32.84	▲0.16	+0.03
IDR	14980	14975	▲15	+10
PHP	54.51	54.51	▲0.14	▲0.14
INR	81.82	81.94	+0.01	+0.35

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.417%	▲9.0 bp	▲2.5 bp
日本(10年)	0.492%	▲0.4 bp	+4.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.284%	▲0.2 bp	+12.6 bp
オーストラリア(5年)	3.313%	+2.4 bp	+7.3 bp
シンガポール(5年)	2.823%	▲2.8 bp	+6.3 bp
中国(5年)	2.708%	+1.3 bp	▲1.0 bp
マレーシア(5年)	3.587%	+0.0 bp	+9.6 bp
タイ(5年)	2.065%	▲2.4 bp	+6.9 bp
インドネシア(5年)	6.319%	▲6.0 bp	▲9.5 bp
フィリピン(5年)	5.795%	▲1.5 bp	+5.8 bp
インド(5年)	7.118%	▲9.4 bp	▲4.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,092.96	+0.0%	+1.0%
N225(日本)	27,346.88	+0.1%	▲0.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,171.44	+0.2%	+0.6%
ASX(オーストラリア)	4,252.85	▲0.1%	+0.3%
FTSTI(シンガポール)	3,377.65	+0.4%	+0.7%
SSEC(中国)	3,284.92	+0.9%	+0.6%
KLSE(マレーシア)	1,485.50	+0.0%	▲0.9%
SETI(タイ)	1,685.75	+0.9%	+0.2%
JKSE(インドネシア)	6,862.258	+0.3%	+0.5%
PSE(フィリピン)	7,035.76	+3.6%	▲0.6%
SENSEX(インド)	59,708.08	+0.3%	▲0.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	271.80	▲2.3%	▲2.0%
金	1,950.52	+1.1%	+0.2%
原油(WTI)	76.41	▲3.1%	▲4.7%
銅	9,060.50	▲1.5%	▲2.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	127.50	—	131.20
EUR/USD	1.0800	—	1.1040
AUD/USD	0.6990	—	0.7220
USD/SGD	1.3000	—	1.3180
USD/CNY	6.7060	—	6.7450
USD/MYR	4.2380	—	4.2670
USD/THB	32.70	—	33.10
USD/IDR	14920	—	15080
USD/PHP	54.40	—	54.90
USD/INR	81.40	—	82.30

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は130円台前半でオープン。公示仲値決定のタイミングにかけドル売り優勢となり、129円台後半まで下落。その後はFOMC前の持ち高調整もあってか、クロス円も買われる流れに、ドル円も130円台前半まで反発。様子見ムードが強まる中、同水準で推移し海外時間に渡った。アジア通貨は小動き。海外時間に予定されるFOMC会合を控え、全般に方向感に欠ける展開となった。インドネシア1月CPIの結果が発表され、市場予想を下回る水準となったが反応は限定的。欧州時間のドル円は一時130円台前半まで小幅に上昇したが、米金利低下に連れドル売りを受け129円台後半まで反落し米州時間入り。米州時間朝方は米1月ADP雇用統計が予想を下回ったことからドル売りで反応し、129円台前半まで下落幅を拡大させたが、その後発表された米12月JOLTS求人件数が予想を上回ると米賃金インフレの懸念が再燃し、ドルが買われる中一時129円台前半まで反発するも、米ISM製造業景況指数が予想を下回る中、すぐ売りに転じ129円台前半まで押し戻される展開。注目のFOMCでは予想通り25bpの利上げが伝わり、発表直後に米長期金利が3.5%台に一時回復する動きを受け129円台後半まで上昇する場面もあったが、パウエルFRB議長の記者会見で「デリスインフレのプロセスが始まった」、「過度に引き締めを行うインセンティブはない」とコメントされ、予想ほどタカ派な姿勢を示さなかったことから株高・債券高・ドル安の流れが強まり、128円台前半まで急落。「予想通りの今年の下下げは想定せず」等のタカ派的な発言も伝わったが、反応は限定的で、その後も上値重く推移。終盤は売りが一巡し、小幅反発し128円台後半でクローズ。

【金利】

米債利回りは大幅低下。FOMC結果を待つ中で債券はやや買い優勢の展開となる中、FRBは市場予想通りに0.25%の利上げを実施。パウエル議長の記者会見は予想対比ハト派といえる内容で、デリスインフレのプロセスが始まっているといった主旨の発言もあったことから短期ゾーンを中心に金利は急低下。

【予想】

本日のドル円は上値重い展開を予想。昨日のパウエル議長のコメントを受けたドル売りが継続するものと予想。昨年末からの日銀政策見直し期待の高まりもあり、ドル売りの相対通貨として円は選ばれやすいか。

【本日の予定】

(日本) 1月 マネジャーベース
(日本) 国債入札(10Y)
(アジア) 12月 NZ 住宅建設許可
(アジア) 12月 豪 住宅建設許可件数 / 民間部門住宅
(アジア) 1月 シンガポール 購買部景気指数 / 電子産業指数
(アジア) 1月 韓国 CPI
(アジア) 4Q 豪 NAB企業信頼感
(欧州) 12月 キリジャ 失業率
(欧州) 12月 仏 財政収支
(欧州) 12月 独 貿易収支
(欧州) 1月 西 失業者数変化
(欧州) ユーロ圏 ECB政策理事会
(欧州) ユーロ圏 ラルトECB総裁会見
(欧州) 英 金融政策会合
(米国) 1月 チャレンジジャー人員削減数
(米国) 4Q 単位人件費(速) / 非農業部門労働生産性(速)
(米国) 新規失業保険申請件数
(米国) 製造業受注 / 耐久財受注(確)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。